

# 台風被災 限界集落の熊野・小船地区

## 避難住民 試練の越冬へ

台風12号で集落の大半が浸水した熊野市紀和町小船地区で、六世帯十二人が避難生活を送る禅灯寺では、被災者が早くもこたつで暖を取っている。山間地の同地区は冬の冷え込みが厳しく、被災者の大半を占めるお年寄りの健康の維持が大きな課題だが、自宅再建のあてもないまま越冬の準備に迫られている。

(小柳悠志)



早くもこたつが据えられた、お堂＝熊野市紀和町小船地区の禅灯寺で

小船地区は、九世帯十九人が住み、平均年齢が七十五歳の限界集落。台風で家が浸水で壊れるなどし、高台の寺に避難した住民は全体の65%を占める。

市街地まで車で片道一時間以上掛かるため、免許のある六人が交代で二、三日おきに食料や日用品の買い出しに出掛ける。腰の弱い八十九歳代のお年寄りの分も含め七十歳代が食事を作って世話をしている。

集落は川と山に挟まれた熊野川沿いで、温暖な紀南地方にあって、冬は雪が舞うこともある。昼夜を過ごす約十六畳のお堂は、天井が高い上、川風をまともに受けるため、熱がこもりにくい。暖房器具は、地元のか慈善団体などから贈られ

### 暖でこたつ 冷え 辛い 再建 なく 自宅 あり

た、こたつ、灯油ストーブ、電気ストーブがそれぞれ二台ずつあるだけで、エアコンはない。

トイレが屋外にあるため、一晩に二、三度も暗がりの中を行き来する人も多い。避難生活を送る岡本光子さん(八八)は、「寒くなれば体の節々も痛む。便所に行くときに、外で転んだりするのも怖い」とつぶや

く。独り暮らしをしていた仲ふさるさん(九〇)も「避難所は不便だらけだが、みんなで一緒にいるほかない」とため息をついた。

熊野市は、国の被災者生活再建支援法の対象で、住宅の被害状況に依じて一世帯あたり最高三百万円が支給されるが、同地区では、年金生活で貯金がほとんどないお年寄りもあり、再建のハードルは高い。区長の新宅次郎さん(六三)は「すべてが手探りの冬だが、何とか集落のまとまりを維持させたい」と話している。

### 三重版



ペンギンの夢  
二科会 伊藤さゆ  
(松阪市松名瀬町)

三重総局(〒514-00)	津市大門7-15
津センターパレス4	059(228)2121
FAX	059(225)6213
四日市支局	059(352)3
FAX	059(353)7
伊勢支局	0596(23)3
FAX	0596(23)3
松阪支局	0598(21)6
FAX	0598(26)3
伊賀支局	0595(21)3
FAX	0595(24)4
尾鷲支局	0597(22)3
FAX	0597(23)3
鈴鹿通信局	059(382)
FAX	059(382)
桑名通信局	0594(22)
FAX	0594(23)
鳥羽通信局	0599(25)
FAX	0599(25)
熊野通信局	0597(85)
FAX	0597(89)
亀山通信局	0595(82)
FAX	0595(82)
名張通信局	0595(63)
FAX	0595(64)
菟野通信局	059(393)
FAX	059(394)
志摩通信局	0599(43)
FAX	0599(44)
紀伊長島通信局	0597(47)
FAX	0597(47)
新宮支局	0735(21)
FAX	0735(21)
ニュースは上の電	
読者センター	052(221)0800
広告のお申し込	
広告局三重アドセン	
津	059(221)

ご自宅葬・会館  
●24時間体制●

さいほう  
平安会館 斎奉

桑名 東員 富田 阿久川 生桑 四日市 菟野 鈴鹿中央 白子 河芸 津 久居

0120-999-

殺害  
「月...」  
桑名の千羽鶴保存会は、東と企画した。

きょうの天気



若者... 同和教育... 第四... 五日... 始まり... のメッセ... えで開... 「差別... く学び... 未来を... テーマ...